

平成17年度 土砂災害防止に関する 絵画・ポスター・作文の受賞作品

土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害から人命、財産を守るため、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、全国各地で土砂災害防止に関する種々の行事を行っています。

絵画・ポスター・作文の募集は、土砂災害防止月間の行事の一環として、明日の日本を担う小・中学生の皆さんに、土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくために毎年実施しているもので、今年度は県内で合計71点の応募がありました。

その中から、地方審査で優秀な作品を中央審査に推薦したところ、本県より1名の方が入選されましたので、お知らせいたします。

また、地方審査での最優秀賞受賞作品につきまして、お知らせいたします。

ポスター(中学生)の部

中央審査 国土交通省砂防部長賞

地方審査 最優秀賞

作者:菊地 祥子さん(米沢市立南原中学校2年)



絵画(小学生)の部

地方審査 最優秀賞

作者:佐藤 和希さん(寒河江市立柴橋小学校6年)



ポスター(小学生)の部

地方審査 最優秀賞

作者:奥山 大貴さん(寒河江市立柴橋小学校4年)



作文(小学生)の部

地方審査 最優秀賞

作者:齋藤 晴香さん(鶴岡市立朝日大泉小学校6年)

土砂災害について考えたこと

「すごい。水の量」

これは、私の学校の行事、以東岳登山でのことです。その日、出発の時は、とってもいい天気でした。私達が登山口に行く中、雨が降ってきて、だんだん強くなってきました。私達は、バスに乗っていましたが、いきなりバスが止まったのです。なぜかという、土砂くずれで、大きな岩が落ちていたからです。見ると上から、どんどん水が流れていました。その水のせいで、道路は川のようになっていました。ふとみると、さっきまできれいな水の色をしていた川が、一瞬で、茶色の水になっていて、流れははやくなり、水量も増えていました。「今日は、だめだな」と言われ、引き返すことになりました。来る時、落ちていた岩は、大人4人で動かしたそうです。帰り道、来る時と全然ちがう風景に、私はびっくりしました。雨で、一瞬にかわるなんて、こわいなと思いました。後で聞いた話によると、登山することはできても、帰れなくなるほど危険だったそうです。

また、兄が友達を家に送ろうとした時のことです。急な坂道を車で登っていたら、土砂くずれがおきていて、道路の半分も土砂が流れていたそうです。他の場所でも、土砂くずれがおきていたそうです。私は、兄からこのことを聞いて、「えっ。土砂くずれがあったの。」とびっくりしました。ついこの間まで、私の家では、「最近、土砂くずれなど、災害がなくていいの。」と話していたからです。

また、去年も、災害がありました。地震がもとでの、すごい土砂くずれがありました。地震がおきた次の日は、大雨が降り、たくさんの土砂くずれがありました。私は、地震で地盤が弱っていたから、たくさん土砂くずれがあったのだと思いました。「地震がもとでなる、土砂くずれもあるんだ。」と思いました。

今、書いた他にも、まだまだ、日本中では色々な災害がおきていると思います。

私が考える、災害の一番こわいところは、まず、いつ、どこでおこるかわからないことと、人間の力では、防ぐことがむずかしい、ということです。自然の力は、あまりにも大きく、強すぎるのです。

私達にできることは、災害で、もしものことがあった時、無事に避難できるように、日頃から、心も物も、準備しておくことだと思います。そして、自分の命を、自分で守ることだと思います。

くずれた道路や、川などは、機械でなおして、元通りにすることはできても、命は、絶対に、もどってこないからです。

このページの内容の問い合わせ先は
山形県土木部河川砂防課砂防室 TEL 023-630-2635